



彫り絵のうだつ

## 岡本 有美子

vivre sa vie + mi-yyu  
 <雑貨>



外観



店内

私達は明治38年築の建物で2007年から雑貨店をしています。

元々は茶、紙、文房具を商う大きな問屋さんだった場所で、北海道では珍しい瓦屋根に外には卯建と呼ばれる防火壁があり、朝日や鶴、亀の彫刻が施された立派なものです。

店を始める時には長年使われていなかった内部を1ヶ月程ひたすら掃除に通い、真っ黒に積もった埃の下に味のある床の木目やレトロな色の壁、ガラスも磨いてみると少し歪みのある趣のあるものだったので改装はせずにそのまま使っています。

お客様に時間の流れがゆっくり感じると言われる事がありますが古い建物ならではの雰囲気こそ感じさせていると思います。

観光客の多い賑やかな通りとは離れているので、冬の間は厳しい日々も続きますが、近所の子供が学校帰りに店内をチラッと覗いて“ただいま”“お帰り”と声を掛け合う、ほっとする空気が小樽には残っていて…それが私達が小樽で店を続けていられる理由の1つでもあると思います。

### 建物履歴

- 明治38年 早川支店として石造倉庫建設→川又商店
- 昭和61年 小樽市歴史的建造物指定
- 平成19年 vivre sa vie + mi-yyu開店

〒047-0031 小樽市色内2丁目4番7号  
 ☎ 0134-24-6268



## 丹 雅 弘

小樽キャンドル工房  
 <キャンドル>



吹き抜けの店内



製作工房

私は札幌の商業施設でキャンドルを扱う仕事をしていましたが、もっと五感に訴えかけて提案できないだろうかという思いから、小樽を訪ね歩いて、この石蔵の建物に出会いました。

妙見川沿いの佇まいも大きな魅力でした。

後日、この建物の内覧をした際には、当初からの思い描いていた構想が一瞬にして具体化することが出来ました。

また、小樽に活路を求めたもう一つの理由は、新しい取り組みを多方面にそして、リアルに発信できるのは、今までとは異なるマーケットである観光地・小樽だったのです。

「この建物の雰囲気惹かれて…」と遠方からいらっしゃるお客様と接する度に此処にして良かったとつくづく感じています。



外観

### 建物履歴

- 明治44年 倉庫建設(棟札現存)
- 昭和62年 海鱗丸開館(レストラン)
- 平成17年 小樽キャンドル工房開館

〒047-0027 小樽市堺町1番27号  
 ☎ 0134-24-5880  
 E-mail: t.masahiro318@gmail.com